

芦屋市共同募金委員会令和7年度事業報告

(募金実績)

令和7年度に取り組んだ共同募金の募金実績額は、一般募金が 5,733,686 円（目標額 8,010,000 円、達成率 71.6%）、歳末たすけあい募金が 769,852 円（目標額 1,500,000 円、達成率 51.3%）、期間拡大募金が 127,746 円（目標額 10,000 円）となりました。前年度実績と比較すると、一般募金（期間拡大募金含む）では 3.5%減、歳末たすけあい募金では 5.0%減、募金総額は約 24 万円の減少となりました。

(募金運動の状況)

募金額については、今年も昨年に引き続き、厳しい社会情勢を受けた著しい物価高騰の中での運動となりましたが、募金協力員のみなさまが尽力して下さった結果、戸別募金として約 471 万円もの寄附をいただくことができました。

共同募金運動が開始される 10 月 1 日には、例年どおり街頭募金を実施し、各地区の募金協力員のみなさまに協力していただきました。前年に引き続き、市内の駅・スーパー全 11 か所で午前と午後の 2 回に分けて実施することで、募金運動の開始をより幅広い世代の方へ知っていただくことができました。また、10 月 5 日（日）にも、芦屋スカウト育成会から約 50 名のみなさまと、役員のみなさまに協力していただき、JR 芦屋駅で街頭募金を行いました。みなさまの熱心な声掛けで、例年同様、多くの募金をいただくことができました。

募金方法については、今年の街頭募金では、電子決済 PayPay を利用した募金が可能になりました。従来から実施されているグッズ募金やクレジットカード募金、募金付き自動販売機募金などとともに、新しい募金方法も広がっています。

また、新たな募金協力先を拡げるため、商工会加入店舗への募金箱設置の依頼や、県内の取り組みを参考にした募金百貨店の呼びかけを行いました。

運動全体を通して、令和7年度も子育て世代への PR に注力しました。共同募金をより身近に感じてもらえるよう、チラシのデザインを工夫しました。また、共同募金運動を知っていただくため、ほっとかへんネットあしや等が主催することも向けイベント「みんな集まれワンダーランド」や、「三条防災雪まつり」、「高浜町福祉もちつき大会」など、市内 9 か所でイベント募金を行いました。

組織体制としては、昨年度末に兵庫県共同募金会の準則に則って改定された、新規程のもとで行う初の募金運動となりました。新規程では、従来の理事会の名称が募金推進委員会に変わったことと、募金委員と募金協力委員の区別を取り募金協力員に統一された点が大きな変更点でした。組織体制がシンプルになり、微小ながら募金協力員のみなさまの負担軽減にもつながりました。

(配分先)

一般募金は、地域住民が取り組む高齢者の見守り活動、子ども会活動、ボランティア活動などの地域福祉活動の財源として、芦屋市社会福祉協議会へ配分しました。

また、芦屋市社会福祉協議会の職員提案事業として、「市民向け健康管理手帳」の作成と「郵送物ポスティング就労体験事業」が実施され、配分金が活用されました。

歳末たすけあい募金は、例年どおり、経済的に援助を要する世帯や、市内福祉施設・団体へ配分されました。経済的援助を要する世帯へは、日ごろからその世帯を見守っている民生児童委員より直接お渡しいただきました。また、各福祉施設・団体への配分については、より活用していただけたところへ配分してほしいとの申し出をいただき、市内特別養護老人ホーム7か所への配分が今年度から終了となりました。その代わりに、新たな配分先として、市内で活動しているこども・地域食堂6か所が加わったほか、要件を満たした、障がい者施設1か所と、市内児童福祉施設1か所が加わりました。配分の総額は、対象となる経済的援助世帯数が減少したことから、14.7万円減額となっています。

(今後の展望)

引き続き募金運動期間に関わらず共同募金運動のPRをしていくこと、わかりやすく共感が得られる広報を行うことが必要です。共同募金運動のことを知らない方にとってわかりやすい広報を行うことで、新しい寄附者層だけでなく、すでにご協力いただいている方にも共感していただけるよう努めるとともに、募金協力員である民生児童委員や福祉推進委員、自治会、老人会など地域の組織・団体への丁寧な説明を行い、賛同・協力していただけるよう、尚一層取り組んでいきます。

1. 募金実績

一般募金	目標額 8,010,000 円 実績額 5,733,686 円（達成率 71.6%）
歳末たすけあい募金	目標額 1,500,000 円 実績額 769,852 円（達成率 51.3%）
期間拡大募金	目標額 10,000 円 実績額 127,746 円（一般募金に充当）

2. 運動期間

一般募金	令和7年10月1日から令和7年12月31日 （運動拡大期間 令和8年1月1日から令和8年3月31日）
歳末たすけあい募金	令和7年12月1日から令和7年12月31日

3. 募金方法

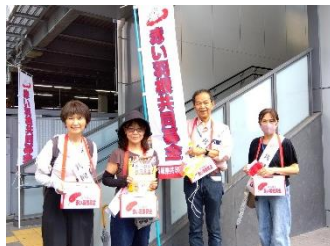
（1）戸別募金 4,715,185 円
協力町数 53 町

（2）街頭募金 387,612 円

① 10月1日（水）市内駅

単位：円

場所	午前 （ ）はバッジ募金	午後 （ ）はバッジ募金	合計
JR 芦屋北	30,710(2,500)	7,907(1,500)	42,617
JR 芦屋南	6,121(3,000)	5,617(1,000)	15,738
阪急芦屋川	40,180(5,000)	8,023(3,000)	56,203
阪神芦屋	7,495(5,000)	7,571(3,500)	23,566
阪神打出	14,769(5,000)	7,699(3,000)	30,468
合計			168,592



② 10月1日(水) 市内スーパー

単位：円

場所	午前 () はバッジ募金	午後 () はバッジ募金	合計
ダイエー芦屋浜店	17,479(5,000)	14,836(1,500)	38,815
コープ浜芦屋店	4,744(5,500)	2,957(2,000)	15,201
KOHYO 芦屋南宮店	9,854(2,500)	8,942	21,296
いかりスーパー	2,113(2,000)	5,386(4,000)	13,499
パル・ヤマト	3,392(3,000)	4,175(2,000)	12,567
マルハチ	6,905(4,000)	26,401(1,500)	38,806
合計			140,184



③ 10月5日(日) 芦屋スカウト育成会のご協力

単位：円

場所	募金 () はバッジ募金	合計
JR 芦屋	74,836(4,000)	78,836



(3) 法人募金 762,100 円

協力法人数 171 法人

※市内(町内)にある企業・団体を法人として位置づけ、個別募金と同時に各町の募金協力員が寄附協力を依頼しています。

(4) 学校募金 232,445 円

協力校数 47 校(保育所・認定こども園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校等)

(5) 職域募金 208,768 円

協力職域 92 事業所（市役所各課含む）

※市内施設・団体・法人等の職員の方に対し協力を依頼しています。

バッジ募金を含みます。

(6) イベント募金 53,940 円（一般 24,675 円、歳末 29,265 円）

日時	イベント名	内容	金額（円）
4月 5日	ふれあい元気の会さくらまつり	ガチャガチャ	1,144
10月22日	大東LSA健康フェスタ	ガチャガチャ	600
10月26日	茶屋秋まつり	ガチャガチャ	7,600
11月 1日	潮芦屋ふれあい秋まつり	ガチャガチャ	2,231
11月15日	みんな集まれワンダーランド	ガチャガチャ・グッズ	3,150
11月22日	岩園町焼き芋イベント	ガチャガチャ	5,650
12月 7日	高浜町福祉もちつき大会	ガチャガチャ（歳末）	29,265
2月15日	三条地区自主防災訓練雪まつり	ガチャガチャ	1,700
3月 8日	コープフェス（浜芦屋店）	ガチャガチャ	2,600

例年7月に保健福祉センターで開催される「あしや保健福祉フェア」は、保健福祉センターが外壁工事のため開催されませんでしたが、「大東LSA健康フェスタ」や、「みんな集まれワンダーランド」、「コープフェス」など、初めて参加するイベントが増え、今年は9か所で募金を行いました。

カプセルの中におもちゃと赤い羽根シールが入ったガチャガチャは、イベントに参加する地域のこどもたちに好評で、小さな頃から赤い羽根共同募金を知っていただくよい機会になっています。



(7) 個人募金 24,154 円

(8) その他募金 374,826 円

医療機関・薬局・店舗で募金箱設置
グッズ募金
自動販売機募金（市内1台）
インターネット募金
クレジットカード募金

4. 広報・啓発活動への取り組み

(1) チラシ・リーフレットの作成

寄附者の共感を得られるわかりやすい広報を行うため、前年度に続き、文字ではなく写真を多く使用したデザインを意識して作成しました。また、具体的な活用例がわかる写真を選びました。さらに、紹介リーフレットを作成し、配布・配架しました。



<チラシ表>



<チラシ裏>



<三つ折りリーフレット>

(2) 募金百貨店プロジェクトの取り組み

新しい寄附の仕組みとして県内で実施されている、企業等で設定した募金付き商品の売り上げの一部を共同募金として寄附していただく「募金百貨店プロジェクト」を開始し、チラシとSNSにて協力いただける店舗を募集しました。今年度は実施には至りませんでした。次年度も引き続き、協力いただける店舗を募集していきます。



(3) 若い世代への働きかけ

11月14日に精道中学校で福祉学習を実施しました。「赤い羽根共同募金ってなんだろう」というテーマで、募金運動の歴史や目的、市内での活用例などについて知っていただく機会となりました。

赤い羽根共同募金については、「保育園の頃に袋をもらって協力した」「募金して赤い羽根をもらった」「あかはねちゃん知ってる!」と、認知度が高かったですが、募金の活用先についてはあまり知られていない様子が見られました。募金の新たな活用方法について考えていただくワークを設定し、赤い羽根共同募金がじぶんの町を良くするしくみであることをお伝えすることができました。



5. その他

令和6年能登半島地震への義援金（令和7年度分）

募金箱 計 4,075 円

令和7年度 大船渡市赤崎町林野火災 災害義援金

募金箱・個人 計 5,456 円